

オレンジリボン調査2023実施の結果について

オレンジリボン運動の広がりに関する現状の確認と、今後の活動のための情報入手を目的として、リサーチ会社（株式会社MSS）の協力を得て、下記の要領でオレンジリボンの認知度を中心とする調査を実施しました。

実施期間：2023年8月24日～9月4日

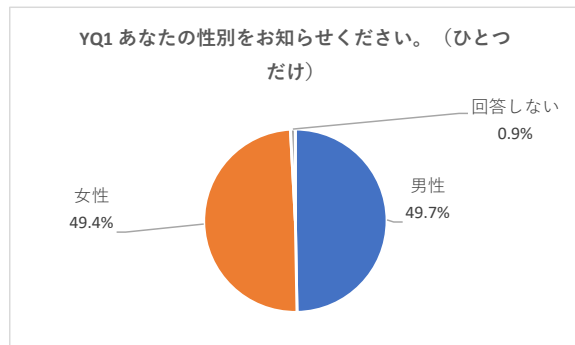
実施方法：

- ① 15,000名を対象に、インターネットでの予備調査を実施（8月24日～8月28日）
- ② 予備調査を下に、500名（オレンジリボン認知者250名、非認知者250名）をランダムに抽出
- ③ 500名を対象に、本調査を実施（8月29日～9月4日）

項目： 認知度に係る設問は経年比較のため過去の実施（2017、2019）と同様とし、その他の設問について過去の実施と同様のもののほか、新たな設問をいくつか加えた。

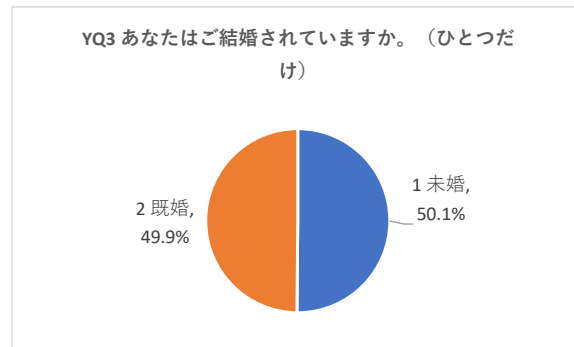
1. 予備調査結果（N=15064）の概要

YQ1 あなたの性別をお知らせください。（ひとつだけ）	%
男性	49.7
女性	49.4
回答しない	0.9
全体（N）	15064

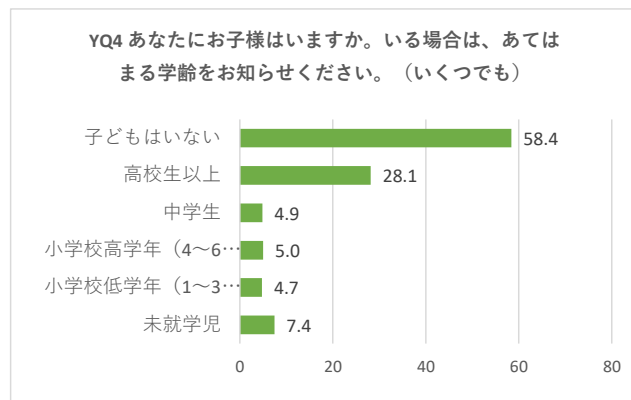


YQ2 あなたの年齢をお知らせください。（半角数字で記入）							
全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値
15064	15064	686965	45.60	13.684	18	69	47

YQ3 あなたはご結婚されていますか。（ひとつだけ）	%
未婚	50.1
既婚	49.9
全体	15064

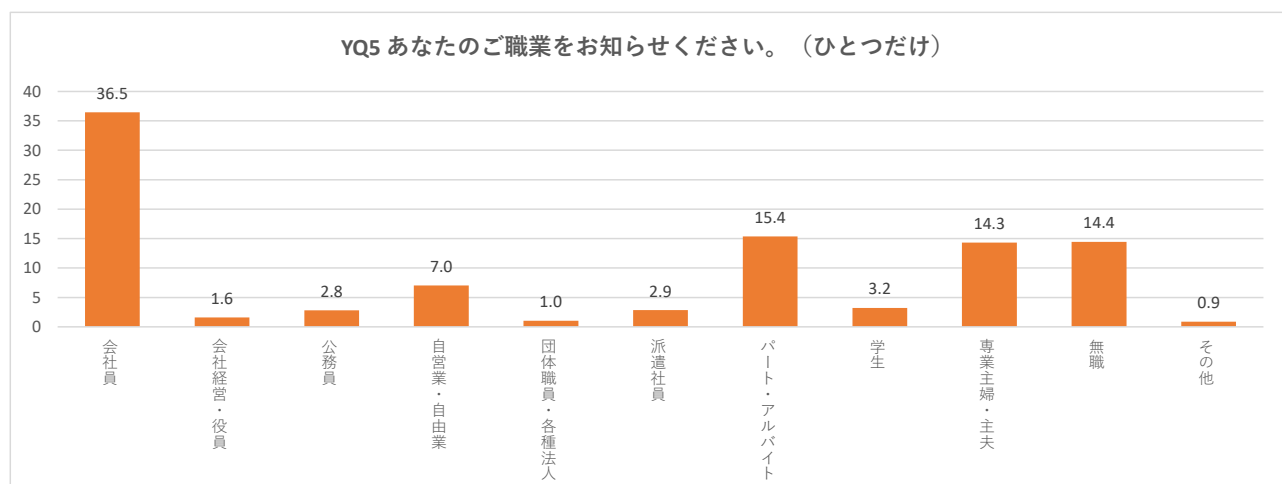


YQ4 あなたにお子様はいますか。いる場合は、あてはまる学齢をお知らせください。（いくつでも）	%
未就学児	7.4
小学校低学年（1～3年生）	4.7
小学校高学年（4～6年生）	5.0
中学生	4.9
高校生以上	28.1
子どもはいない	58.4
全体	15064



YQ5 あなたのご職業をお知らせください。（ひとつだけ）

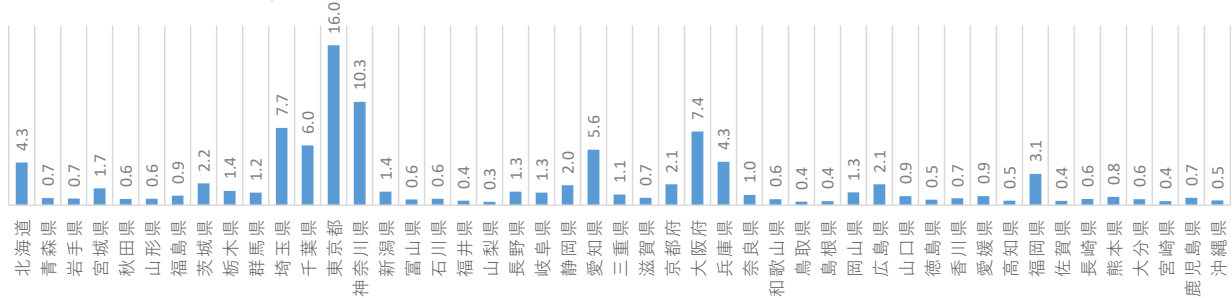
会社員	会社経営・役員	公務員	自営業・自由業	団体職員・各種法人	派遣社員	パート・アルバイト	学生	専業主婦・主夫	無職	その他
36.5	1.6	2.8	7.0	1.0	2.9	15.4	3.2	14.3	14.4	0.9



YQ6 あなたがお住まいの都道府県をお知らせください。（ひとつだけ）

	%		%		%		%		%
北海道	4.3	埼玉県	7.7	岐阜県	1.3	鳥取県	0.4	佐賀県	0.4
青森県	0.7	千葉県	6.0	静岡県	2.0	島根県	0.4	長崎県	0.6
岩手県	0.7	東京都	16.0	愛知県	5.6	岡山県	1.3	熊本県	0.8
宮城県	1.7	神奈川県	10.3	三重県	1.1	広島県	2.1	大分県	0.6
秋田県	0.6	新潟県	1.4	滋賀県	0.7	山口県	0.9	宮崎県	0.4
山形県	0.6	富山県	0.6	京都府	2.1	徳島県	0.5	鹿児島県	0.7
福島県	0.9	石川県	0.6	大阪府	7.4	香川県	0.7	沖縄県	0.5
茨城県	2.2	福井県	0.4	兵庫県	4.3	愛媛県	0.9	全体(N) 15064	
栃木県	1.4	山梨県	0.3	奈良県	1.0	高知県	0.5		
群馬県	1.2	長野県	1.3	和歌山県	0.6	福岡県	3.1		

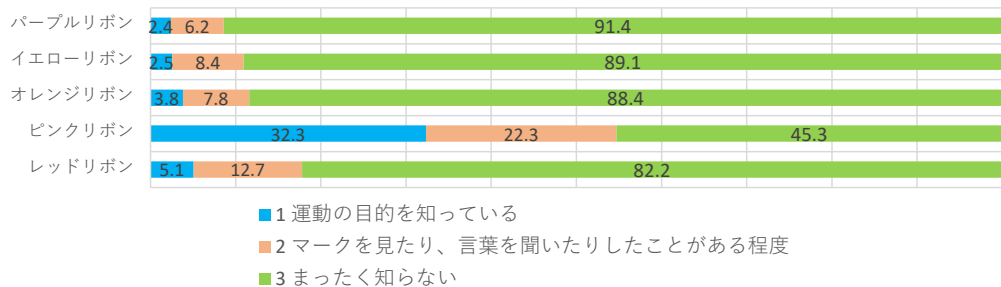
YQ6 あなたがお住まいの都道府県をお知らせください。（ひとつだけ）



YQ7 あなたは、以下のそれぞれのリボンについて、知っていますか。あてはまるものをお選びください。（それぞれひとつずつ）

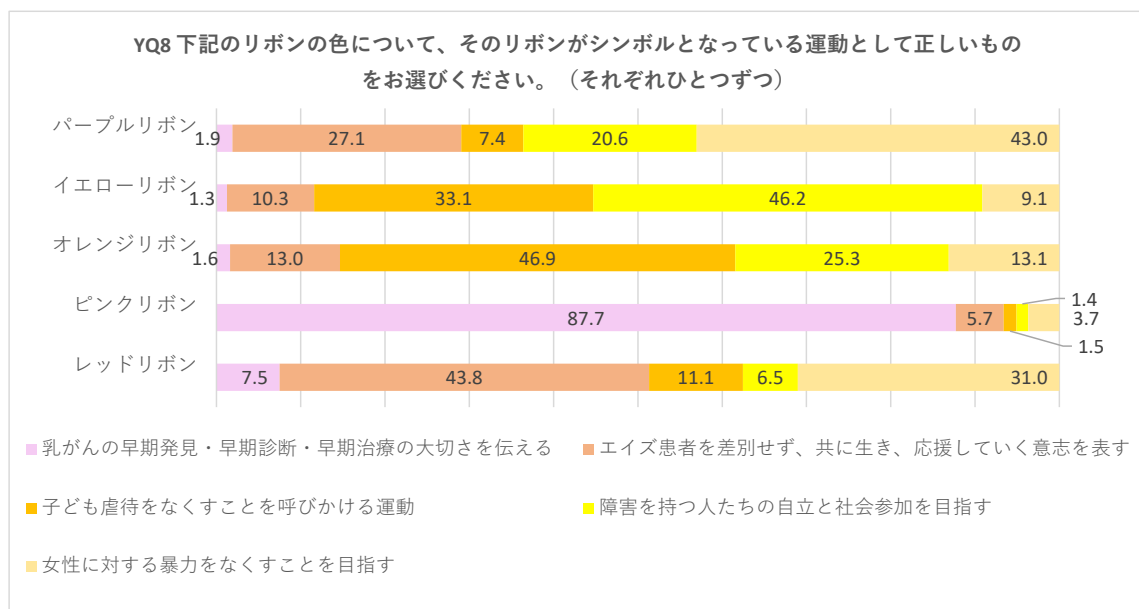
	全体(N)	運動の目的を知っている	マークを見たり、言葉を聞いたりしたことがある程度	まったく知らない
レッドリボン	15064	5.1	12.7	82.2
ピンクリボン	15064	32.3	22.3	45.3
オレンジリボン	15064	3.8	7.8	88.4
イエローリボン	15064	2.5	8.4	89.1
パープルリボン	15064	2.4	6.2	91.4

YQ7 あなたは、以下のそれぞれのリボンについて、知っていますか。あてはまるものをお選びください。（それぞれひとつずつ）



YQ8 下記のリボンの色について、そのリボンがシンボルとなっている運動として正しいものを選びください。（それぞれひとつずつ）

	全体	乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える	エイズ患者を差別せず、共に生き、応援していく意志を表す	子ども虐待をなくすことを呼びかける運動	障害を持つ人たちの自立と社会参加を目指す	女性に対する暴力をなくすことを目指す
レッドリボン	8693	7.5	43.8	11.1	6.5	31.0
ピンクリボン	8693	87.7	5.7	1.5	1.4	3.7
オレンジリボン	8693	1.6	13.0	46.9	25.3	13.1
イエローリボン	8693	1.3	10.3	33.1	46.2	9.1
パープルリボン	8693	1.9	27.1	7.4	20.6	43.0



2. 予備調査および本調査結果からの考察

- 予備調査・本調査ともに、クロス集計表「%表」（経年比較においては2020年度および2023年度結果分）より抽出
- 増加 減少

■ オレンジリボンの認知度について

「オレンジリボン」が「子ども虐待をなくすことを呼び掛ける運動」であるとその目的や内容を正確に理解していることを示す認知度については、前回調査時の7.6%から7.0%へとわずかに減少していることから、オレンジリボン運動の目的や内容について、より一層の周知が必要であることが明らかとなった。

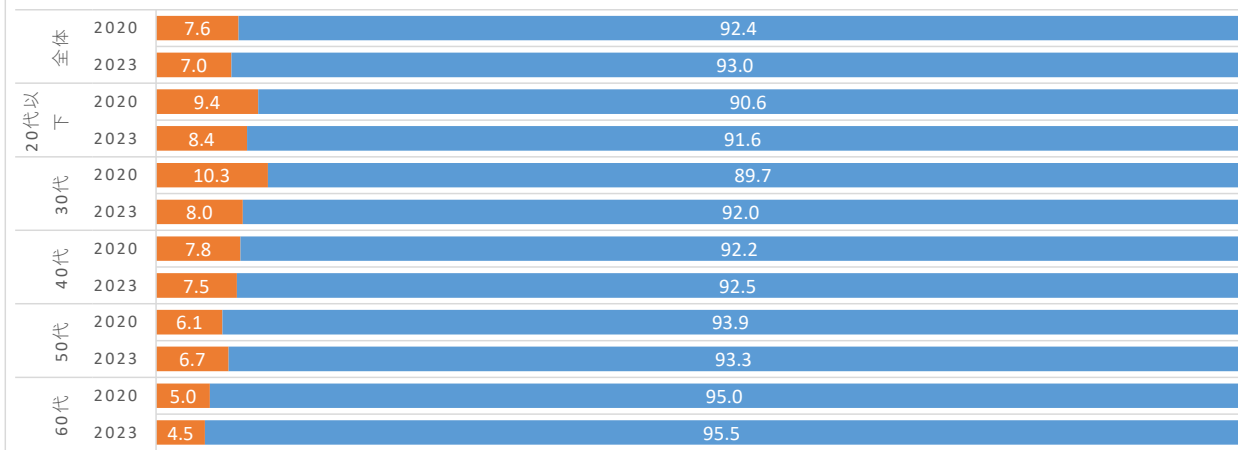
※「オレンジリボン」が「子ども虐待をなくすことを呼び掛ける運動」であるとその目的や内容を正確に理解していることを示す認知度は、Q7.「オレンジリボン」「1 運動の目的を知っている」又は「2 マークを見たり、言葉を聞いたりしたことがある程度」を選択し、かつQ8「オレンジリボン」で「3 子ども虐待をなくすことを呼びかける運動」を選択した回答の割合。（以下「認知者」）。

[オレンジリボン]

	2020				2023			
	全体 (N)	完全一致者 (Q7_3=1 and Q8_3=3)	認知者 (Q7_3=1 or 2 and Q8_3=3)	非認知者	全体 (N)	完全一致者 (YQ7_3=1 and YQ8_3=3)	認知者 (YQ7_3=1 or 2 and YQ8_3=3)	非認知者
全体 (N)	10000	3.5	7.6	92.4	15064	2.8	7.0	93.0
20代以下	1769	3.8	9.4	90.6	2641	3.6	8.4	91.6
30代	1879	4.9	10.3	89.7	2656	3.7	8.0	92.0
40代	2272	3.8	7.8	92.2	3512	3.2	7.5	92.5
50代	1872	2.8	6.1	93.9	3222	2.2	6.7	93.3
60代	2208	2.1	5.0	95.0	3033	1.4	4.5	95.5

「オレンジリボン」が「子ども虐待をなくすことを呼び掛ける運動」であるとその目的や内容を正確に理解していることを示す認知度

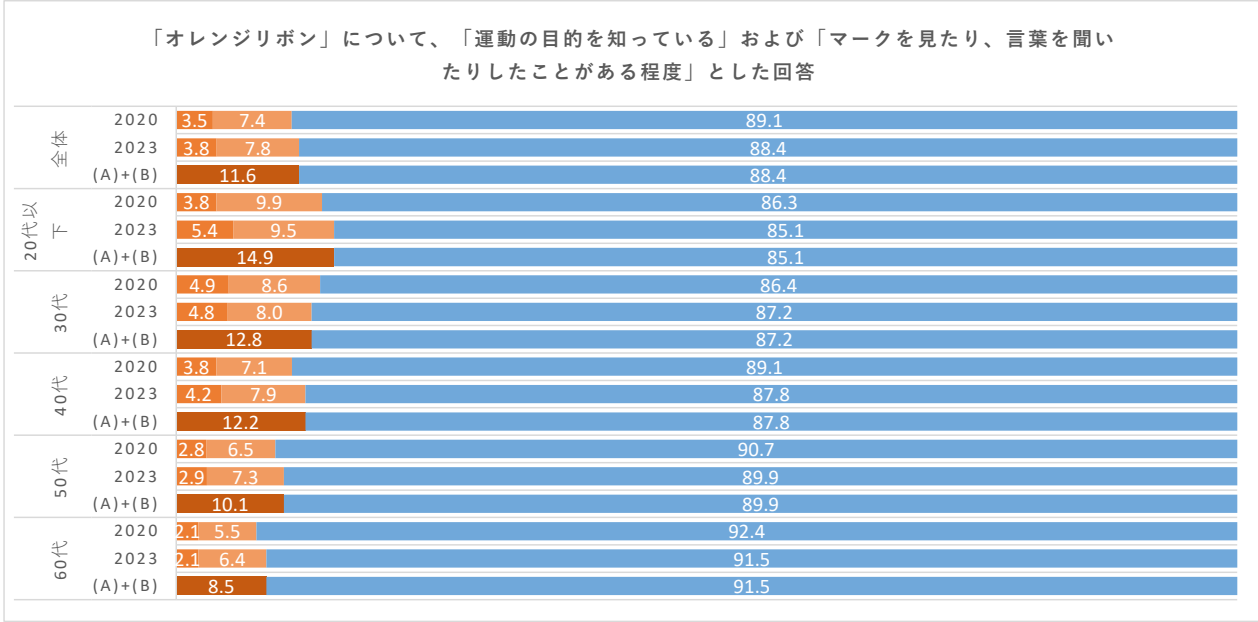
■ 認知者(Q7_3=1 or 2 and Q8_3=3) ■ 非認知者



一方で、「オレンジリボン」について、「運動の目的を知っている」および「マークを見たり、言葉を聞いたりしたことがある程度」とした回答の合計は、前回調査時（2020）と比較して、10.9％から11.6％へと増加した。これについて世代別で見ると、20代以下（13.7％→14.9％）30代（13.6％→12.8％）、40代（10.9％→12.2％）、50代（9.3％→10.1％）、60代（7.6％→8.5％）と、30代を除くすべての世代で前回調査時と比べ増加していた。

Q7. あなたは、以下のそれぞれのリボンについて、あてはまるものをお選びください。（それぞれひとつずつ）
[オレンジリボン]

	2020年度(前回調査時)					2023年度調査				
	全体 (N)	1 運動の目的を知っている(a)	2 マークを見たり、言葉を聞いたりしたことがある程度(b)	(a)+(b)	3 まったく知らない	全体 (N)	1 運動の目的を知っている	2 マークを見たり、言葉を聞いたりしたことがある程度(b)	(a)+(b)	3 まったく知らない
全体(N)	10000	3.5	7.4	10.9	89.1	15064	3.8	7.8	11.6	88.4
20代以下	1769	3.8	9.9	13.7	86.3	2641	5.4	9.5	14.9	85.1
30代	1879	4.9	8.6	13.6	86.4	2656	4.8	8.0	12.8	87.2
40代	2272	3.8	7.1	10.9	89.1	3512	4.2	7.9	12.2	87.8
50代	1872	2.8	6.5	9.3	90.7	3222	2.9	7.3	10.1	89.9
60代	2208	2.1	5.5	7.6	92.4	3033	2.1	6.4	8.5	91.5

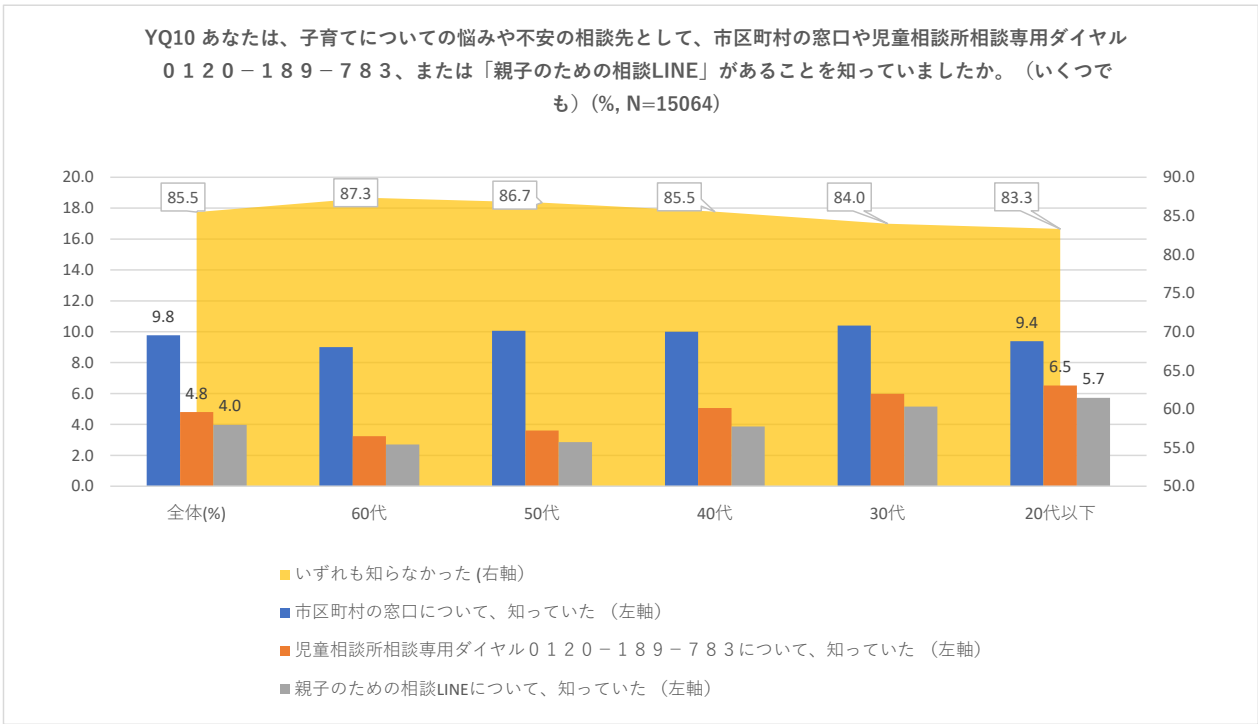


■公的機関が運営する子育ての悩みの相談先・虐待通告ダイヤル（１８９）について

80%以上の方が子育ての悩みの相談先、虐待通告ダイヤルを知らなかった。子育ての悩みの相談先を「知っている」とした回答では、「市区町村の窓口」（9.8%）が最も知られており、続いて「児童相談所相談ダイヤル0120-189-783」（4.8%）、「親子のための相談LINE」（4.0%）の順であったことがわかった。「知っている」と回答した人の世代別でみると、20代による「市区町村の窓口を知っている」の回答を除き、全ての相談先において、若い世代のほうが高い数値となった。

YQ10 あなたは、子育てについての悩みや不安の相談先として、市区町村の窓口や児童相談所相談専用ダイヤル0120-189-783、または「親子のための相談LINE」があることを知っていましたか。（いくつでも）

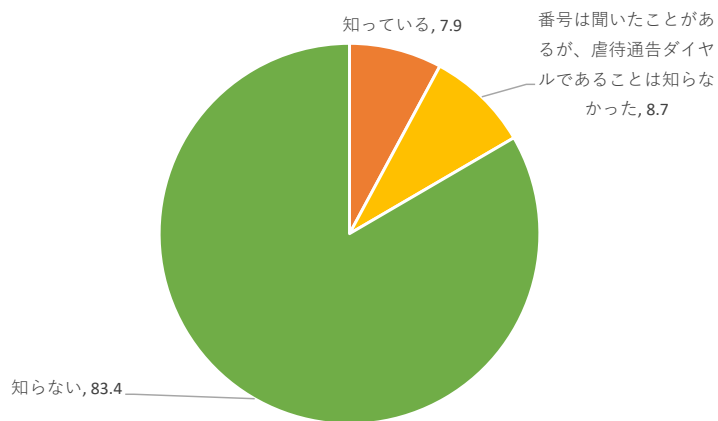
	全体 (N=15064)	市区町村の窓口について、知っていた	児童相談所相談専用ダイヤル0120-189-783について、知っていた	親子のための相談LINEについて、知っていた	いずれも知らなかった
全体(%)		9.8	4.8	4.0	85.5
20代以下	2641	9.4	6.5	5.7	83.3
30代	2656	10.4	6.0	5.2	84.0
40代	3512	10.0	5.1	3.9	85.5
50代	3222	10.1	3.6	2.9	86.7
60代	3033	9.0	3.2	2.7	87.3



YQ9「189」は虐待通告ダイヤルであることを知っていますか。（ひとつだけ）

	全体(N)	知っている	番号は聞いたことがあるが、虐待通告ダイヤルであることは知らなかった	知らない
全体 (N)	15064	7.9	8.7	83.4
20代以下	2641	9.3	8.4	82.3
30代	2656	8.8	8.9	82.3
40代	3512	7.5	8.3	84.2
50代	3222	6.8	8.5	84.7
60代	3033	7.3	9.6	83.1

YQ9「189」は虐待通告ダイヤルであることを知っていますか。（ひとつだけ）全体、%、N=15064

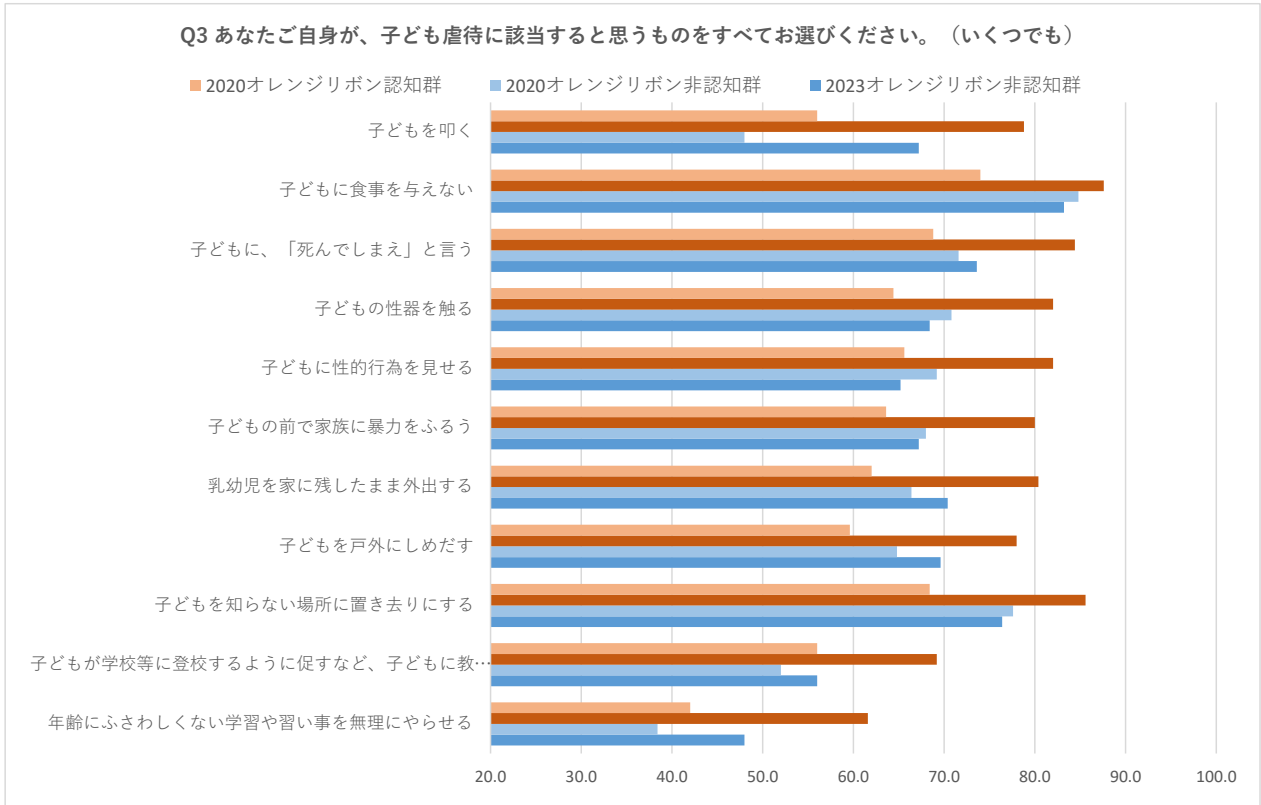


■ 11の例示行為が、虐待に該当するかを問う設問について（複数回答可）

オレンジリボンの目的や内容を正確に理解している認知者群は、2020年調査時と比べて、11項目すべてにおいて「虐待に該当する」と回答した人が増加した。オレンジリボン非認知者群では、11の例示行為のうち、「虐待に該当する」と回答した人が増加したのは6項目だった。

Q3 あなたご自身が、子ども虐待に該当すると思うものをすべてお選びください。（いくつでも）

	2020			2023		
	全体（%）	オレンジ リボン認 知	オレンジ リボン非 認知	全体（%）	オレンジ リボン認 知	オレンジ リボン非 認知
全体（N）	500	250	250	500	250	250
子どもを叩く	52.0	56.0	48.0	73.0	78.8	67.2
子どもに食事を与えない	79.4	74.0	84.8	85.4	87.6	83.2
子どもに、「死んでしまえ」と言う	70.2	68.8	71.6	79.0	84.4	73.6
子どもの性器を触る	67.6	64.4	70.8	75.2	82.0	68.4
子どもに性的行為を見せる	67.4	65.6	69.2	73.6	82.0	65.2
子どもの前で家族に暴力をふるう	65.8	63.6	68.0	73.6	80.0	67.2
乳幼児を家に残したまま外出する	64.2	62.0	66.4	75.4	80.4	70.4
子どもを戸外にしめだす	62.2	59.6	64.8	73.8	78.0	69.6
子どもを知らない場所に置き去りにする	73.0	68.4	77.6	81.0	85.6	76.4
子どもが学校等に登校するように促すなど、子どもに教...	54.0	56.0	52.0	62.6	69.2	56.0
年齢にふさわしくない学習や習い事を無理にやら...	40.2	42.0	38.4	54.8	61.6	48.0
あてはまるものはない	5.0	3.6	6.4	6.8	3.6	10.0
答えたくない	4.4	4.8	4.0	2.6	1.2	4.0



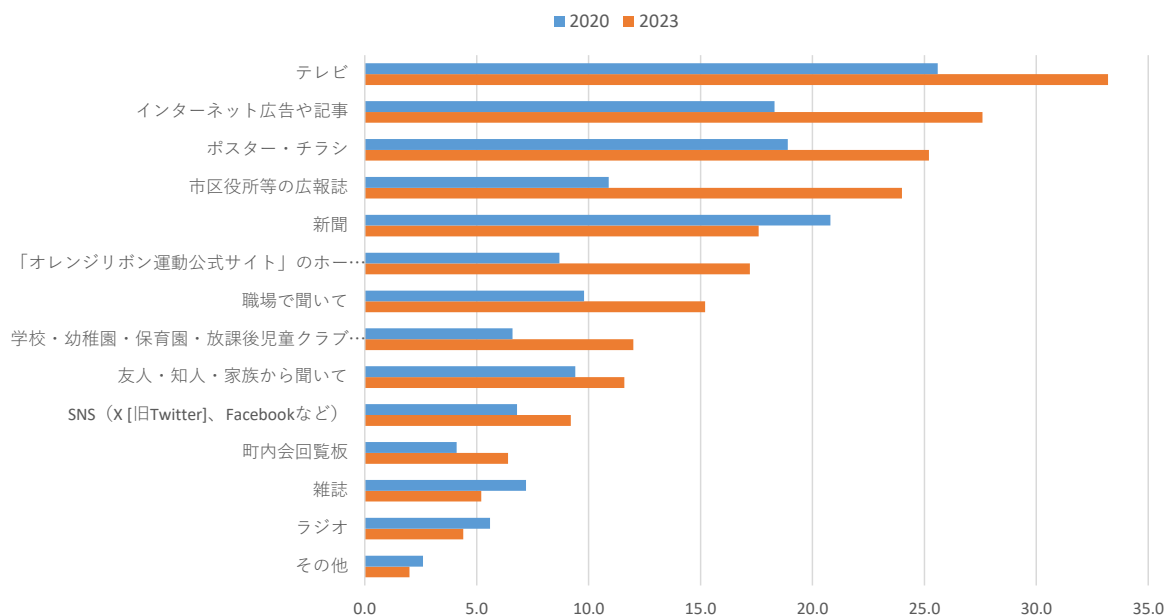
■「オレンジリボン運動」について、どこで知ったかについて（複数回答可）

オレンジリボンの目的や内容まで正確に理解している認知者は、多い順に「テレビ」（33.2%）、「インターネット広告や記事」（27.6%）、「ポスター・チラシ」（25.2%）、「市区役所等の広報誌」（24.0%）と回答した。2020年の調査時と比較すると、「新聞」「雑誌」「ラジオ」を通じて知った人の割合が、わずかに減少している。

Q5 あなたは「オレンジリボン運動」について、どこで知りましたか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

	全体(N)	新聞	雑誌	テレビ	ラジオ	「オレンジリボン運動公式サイト」のホームページ	インターネット広告や記事	SNS (X [旧Twitter]、Facebookなど)
2020	763	20.8	7.2	25.6	5.6	8.7	18.3	6.8
2023	250	17.6	5.2	33.2	4.4	17.2	27.6	9.2
	全体(N)	ポスター・チラシ	市区役所等の広報誌	町内会回覧板	学校・幼稚園・保育園・放課後児童クラブで聞いて	職場で聞いて	友人・知人・家族から聞いて	その他
2020	763	18.9	10.9	4.1	6.6	9.8	9.4	2.6
2023	250	25.2	24.0	6.4	12.0	15.2	11.6	2.0

Q5 あなたは「オレンジリボン運動」について、どこで知りましたか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）



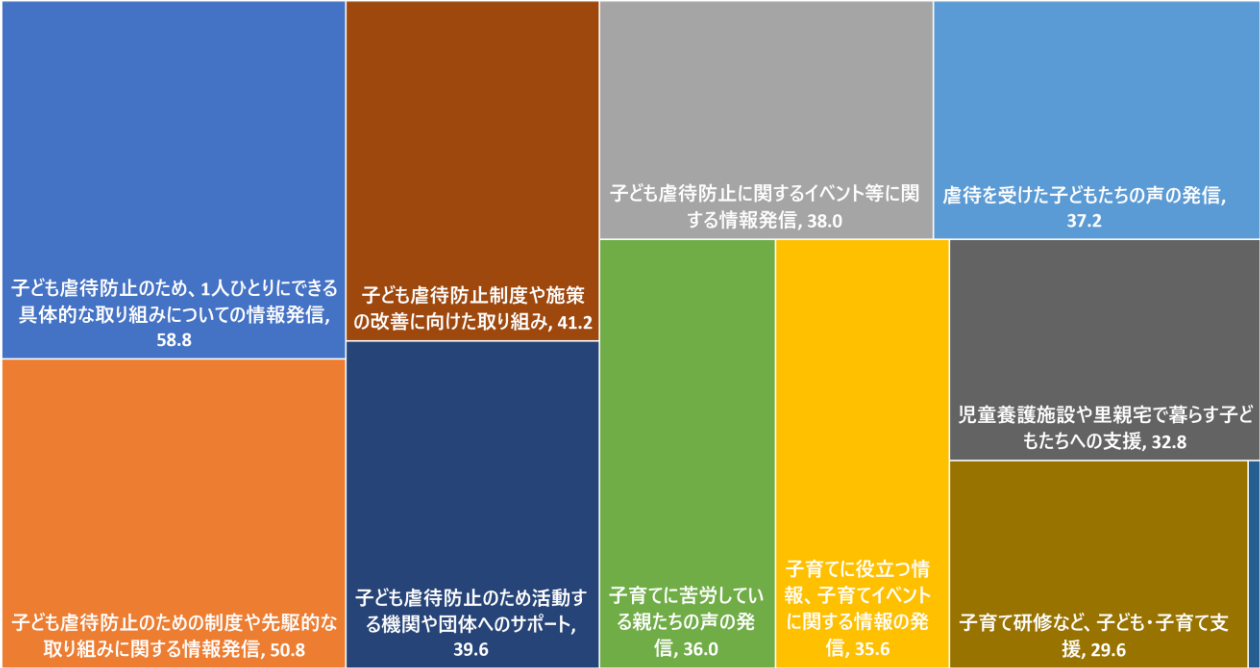
■ オレンジリボン運動に期待する取り組みについて（複数回答可）

調査の結果、多い順に、「一人ひとりにできる具体的な取り組みについての情報発信」（58.8%）、「子ども虐待防止のための制度や先駆的な取り組みに関する情報発信」（50.8%）、「子ども虐待防止制度や施策の改善に向けた取り組み」（41.2%）、「子ども虐待防止のための活動する機関や団体へのサポート」（39.6%）が挙げられた。

Q9 「子ども虐待防止オレンジリボン」運動に期待する取り組み、または強化すべきと思う活動はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	2020オレンジリボン認知	2023オレンジリボン認知
全体（N）	250	250
子ども虐待防止のため、1人ひとりにできる具体的な取り組みについての情報発信	49.6	58.8
子ども虐待防止のための制度や先駆的な取り組みに関する情報発信	44.4	50.8
子ども虐待防止に関するイベント等に関する情報発信	28.0	38.0
子育てに役立つ情報、子育てイベントに関する情報の発信	24.4	35.6
虐待を受けた子どもたちの声の発信	25.6	37.2
子育てに苦労している親たちの声の発信	23.2	36.0
子ども虐待防止のため活動する機関や団体へのサポート	28.0	39.6
子ども虐待防止制度や施策の改善に向けた取り組み	31.2	41.2
児童養護施設や里親宅で暮らす子どもたちへの支援	27.6	32.8
子育て研修など、子ども・子育て支援	19.2	29.6
その他	0.4	1.2
特にない	10.8	9.2

Q9 「子ども虐待防止オレンジリボン」運動に期待する取り組み、または強化すべきと思う活動はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）
オレンジリボン認知群（%, N=250）



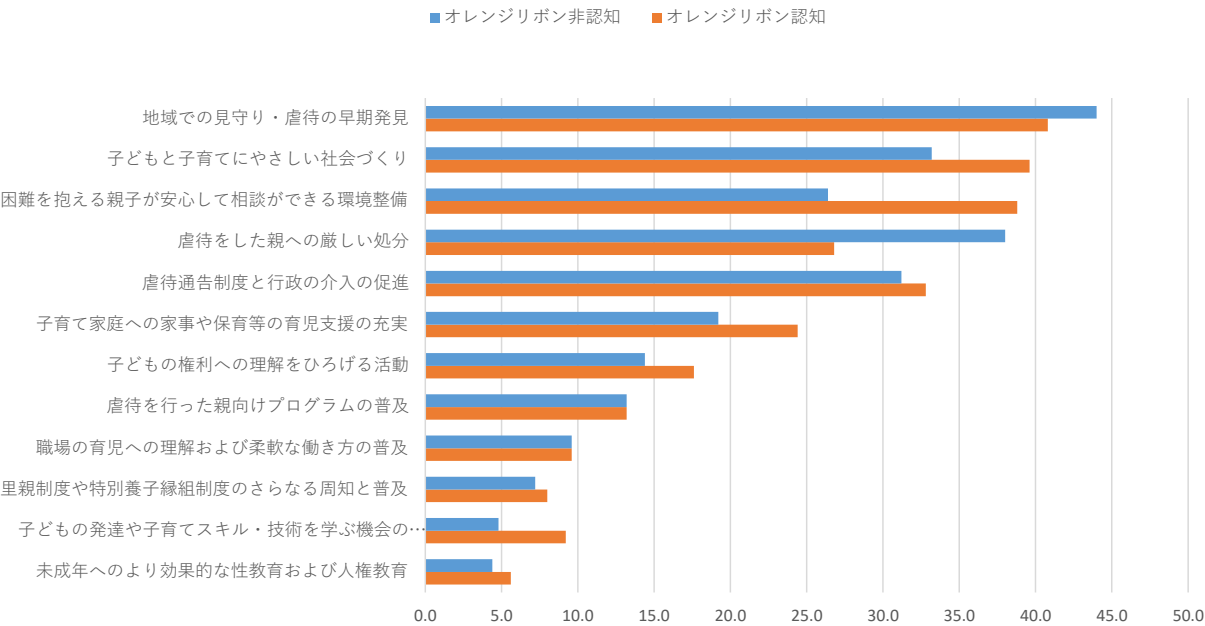
■ 子ども虐待をなくすために大事なことについて（3つまで選択）

オレンジリボン認知者および非認知者のどちらにおいても、「地域での見守り・虐待の早期発見」が最も多く、それぞれ40.8%、44.0%の方がこれを選択した。次に多く選択されたのは、オレンジリボン認知者群では「子どもと子育てにやさしい社会づくり」（39.6%）であったが、オレンジリボン非認知者群では「虐待をした親への厳しい処分」（38.0%）となった。これに続いて選択された回答は、オレンジリボン認知群では、「困難を抱える親子が安心して相談ができる環境整備」（38.8%）、非認知群では「子どもと子育てにやさしい社会づくり」（33.2%）が挙げられた。

Q10 子ども虐待をなくすには、どのようなことが大事だと思いますか。あなたのお考えに最もあてはまるものを3つまで、お選びください。（3つまで）

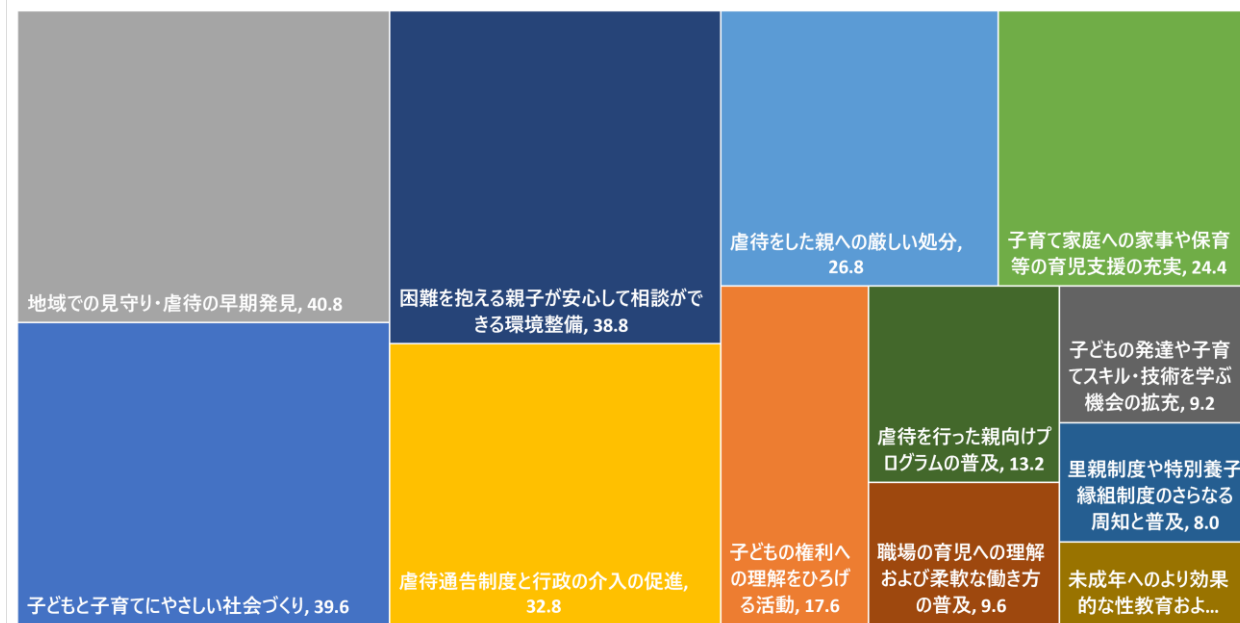
	全体（%）	オレンジ リボン認 知	オレンジ リボン非 認知
全体（N）	500	250	250
子どもと子育てにやさしい社会づくり	36.4	39.6	33.2
子どもの権利への理解をひろげる活動	16.0	17.6	14.4
地域での見守り・虐待の早期発見	42.4	40.8	44.0
虐待通告制度と行政の介入の促進	32.0	32.8	31.2
虐待をした親への厳しい処分	32.4	26.8	38.0
子育て家庭への家事や保育等の育児支援の充実	21.8	24.4	19.2
困難を抱える親子が安心して相談ができる環境整備	32.6	38.8	26.4
職場の育児への理解および柔軟な働き方の普及	9.6	9.6	9.6
子どもの発達や子育てスキル・技術を学ぶ機会の拡充	7.0	9.2	4.8
未成年へのより効果的な性教育および人権教育	5.0	5.6	4.4
里親制度や特別養子縁組制度のさらなる周知と普及	7.6	8.0	7.2
虐待を行った親向けプログラムの普及	13.2	13.2	13.2

Q10 子ども虐待をなくすには、どのようなことが大事だと思いますか。あなたのお考えに最もあてはまるものを3つまで、お選びください。（3つまで）



Q10. 子ども虐待をなくすには、どのようなことが大事だと思いますか。あなたのお考えに最もあてはまるものを3つまで、お選びください。（3つまで）

オレンジリボン認知群 %, N=250



Q10. 子ども虐待をなくすには、どのようなことが大事だと思いますか。あなたのお考えに最もあてはまるものを3つまで、お選びください。（3つまで）

オレンジリボン非認知群 %, N=250

